

留学体験レポート

21015034 串田冨佳

1. はじめに

食事・寮・授業・CP・AB・FIS family の6つについて私の体験をお話します。

2. 食事

基本的に、大学内にある「ユニオン」と呼ばれるところの一階の学食で朝・昼・晩ご飯を食べました。大体毎日同じメニューで、朝はスクランブルエッグやベーコンなど、昼と夜はピザやハンバーガーを主に食べました。昼と夜は日替わりメニューもあり、モンゴリアンと呼ばれるアジアンテイストなご飯もあるので、毎日ご飯の時間が楽しみでした。

また、ユニオンの2階には、ベーグルのお店やZEN という名前の日本食のお店があります。通常お金がかかりますが、週に1回ベアキャットカードで“meal exchange”をすれば、お金を払わなくても決められたメニューの中のものなら食べることができます。

3. 寮

寮では通常、1部屋に2人がともに生活します。部屋には机とベッド・服など入れる棚と、洗濯物を掛けるクローゼットのようなものが1人1つずつあります。トイレとシャワーは各フロアに1か所設置されています。洗濯物は、地下にある洗濯機を寮生全員で使います。また、地下には1か所キッチンがあり、電子レンジも設置されているので料理をすることもできます。

4. 授業

ESL での授業は、2クラスに分かれて Reading & Writing・Grammar・Listening & Speaking を毎日学習しました。ESL とは English as a Second Language の略であり、第二言語として英語を学ぶクラスのことです。また週に1回 American Culture の授業があり、週に2回 TOEIC の授業が行われました。

5. CP

CP とは Conversation Partner のことで、ESL の生徒2人に CP が1人ペアになって週に一回決められたトピックについて話し合い、意見を交換しました。私は CP と将来の職業や行ってみたいところ、また大統領選挙が行われる前にはどちらを支持するか、などの話し合いをしました。

6. AB

ABとはActivity Buddyのことであり、通常ESLの生徒1人とAB2人がペアになり、会話をしたり、イベントと一緒に参加したりしました。私はABと一緒にハンバーガーを食べたり、ボーリングをして遊んだり、クリスマスのイルミネーションを見に行ったりしました。活動を共にすることで、英語で会話をする機会も多くなりますし、文化を知ることできますし、何より友達もできるので、ABはとても良い機会だと私は思いました。

7. FIS family

11月23日から11月28日、Thanksgiving期間中の6日間、私はFIS familyであるThromさんのお家で過ごさせていただきました。FISfamilyとはホストファミリーの事で、ESLの生徒1、2人に1家族振り当てられます。1日目は緊張していてあまり会話もできず、戸惑うこともありましたが、次第に打ち解け、積極的に会話をするようになりました。一緒にお菓子作りをしたり、Black Fridayに買い物に出かけたり、クリスマスの飾りつけをしたり、イルミネーションを見に行ったり、最後の日にはお土産として持ってきた折り紙と一緒に折って遊びました。思い出に残る、とても有意義で貴重な体験をさせていただきました。

8. 最後に

最初のうちは慣れない環境に戸惑うことが沢山あり、辛いこともありましたが、留学を終えて振り返ってみて、良い思い出のほうが多く、得たものが沢山あり、また自分がこれからやるべきこと、課題をみつけることができたので、留学してよかったと心から思います。